



年 組 名前

道新でワークシート

わがまち1番ものがたり

安心、安全 自然からの恵み

苦小牧市高丘の水道水の水源、幌内川上流は、環境省がまとめた公共用水域水質測定 of 河川部門で2016年度と17年度の2年連続、水質日本一に輝いた。水道水は「とまチョップ水」として市がペットボトルに詰めて販売しており、水のきれいなまち・苦小牧のPRに一役買っている。

環境省の調査によると、幌内川の水質の汚れを示す生物化学的酸素要求量（BOD）の年間平均値は、計測の限界とされる1.5以下あり0.5以下で、最も水質が良好とされた。幌内川は市高丘の森林から中心部を流れ、苦小牧港に注ぐ4.7kmの2級河川。水源は、市内に水を供給す

＝ 苦小牧・幌内川 ＝

⑩ 水質日本一

高丘浄水場から北西に約3km、広葉樹林が広がる森の奥地にあり、火山灰地の地中からポコポコと湧き出ている。市環境生活課長の片石秀伸さん(59)によると、雪解け水や雨水が樽前山の噴火で積もった火山灰層に浸透した伏流水で、「周辺はクマやエゾシカ、野鳥の楽園が広がる森林地帯。苦小牧は工業都市のイメージが強いが、水源はまさに自然の宝庫」という。

水の管理を担当する主査の草刈明さん(53)は「幌内川の水は、他より軟らかくまろやか。日本一のプライドにかけ、安心・安全のこの水を市民に届ける喜びを感じている」と話す。市は15年度から、ペット

ボトルに詰めた水道水を「とまチョップ水」と名付け、500ml入りと1000ml入りの2種類を100円で販売。市内のスーパーストアやコンビニなど計54店舗のほか、東京の「北海道とさんこプラザ有楽町店」にも常設し、18年度までに計画を3万4千本上回る計25万4千本売った。

昨年には、市職員らが作詞し、市内在住のシンガー・ソングライターかんばやしまなぶさんが作曲したイメージソング「すいすいすい」とまチョップ水」も制作。市上下水道部でCDを無料で貸し出しているほか、動画投稿サイト「YouTube」(ユーチューブ)で配信し、爽やかな歌詞とメロディーで、おいしい水のまちをPRしている。(蒲生美緒)

2019年5月10日朝刊苦小牧・日高版 (記事は再編集しています)

- ① 苦小牧市の水道水は、ペットボトルで販売（はんばい）されています。どのような名前で販売されていますか。
- ② 苦小牧市の水道に使われる水は、かつて水質日本一に輝（かがや）いたことがあります。もともになる水は、どのようなところから湧（わ）き出たものですか。